



角田「金」1号



柔道女子
48キ級

夏季メダル
500個目

柔道女子48キ級でモンゴル選手を破り、金メダルを獲得した角田夏実＝パリ（共同）

【パリ共同】パリ五輪第2日の27日、柔道女子48キ級の角田夏実(31)が優勝し、日本選手団の金メダル第1号を獲得した。夏季五輪の日本の通算メダルは節目の500個に到達した。

千葉県出身。ともえ投げと関節技を駆使する独特のスタイルで活躍。2021〜23年の世界選手権を3連覇し、優勝候補筆頭として今大会に臨んだ。この階級は谷亮子が00年シドニー、04年アテネ五輪を連覇して以降頂点に届かず、20年ぶりに王座奪還を果たした。

男子60キ級「永山」銅

柔道男子60キ級の永山竜樹(28)が3位決定戦をものにして、銅メダルを獲得した。

北海道出身。身長156センチと小柄ながら、背負い投げや内股など豪快な技を武器に活躍。元世界ランキング1位の実力者は前回東京五輪の出場を逃した悔しさをばねに、同五輪優勝の高藤直寿(31)とパーク24との代表争いを逆転で制した。初出場で目指した頂点への道は途切れたが、諦めずに表彰台を確保した。